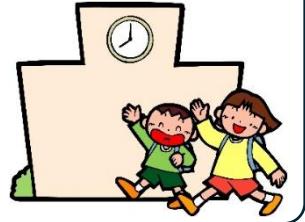


府中小コミュニティ・スクールだより

NO. 14 令和7年11月18日 発行責任者 校長 青木 真智子



給食試食会



10月24日に47名の方に参加され、給食試食会が行われました。栄養教諭の西坂先生からは学校給食について話をいただきました。府中小学校では、870食もの給食を午前中10名の調理員の皆さんのが衛生面に細心の注意を払って作られています。

西坂先生は、献立を考えられる時には、家庭でとることが難しい野菜類、種実類、豆類、芋類、きのこ類、藻類、果実類をしっかりとれるようにしたり、塩分をとりすぎないように気をつけたりしているそうです。また、大切にされていることは「栄養バランス」「季節感」「行事食・郷土料理」「安心できる食材」「手作り」の5点です。給食を通して「子供たちが今の健康だけでなく、将来もずっと健康で、幸せであるために」という願いのもと、栄養計算ができなくても、バランスが整った食べ方ができ、望ましい食習慣を身につけることができるよう給食を通して食育を推進されています。また、給食ができるまでの動画も参加者の皆さんに視聴していただきました。

その後、子供たちの給食時間での準備・配膳・食べている様子を参観し、給食（ご飯、ししゃもフライ、ブロッコリーのおかか和え、相性汁、みかんゼリー、牛乳）を試食していただきました。

学校では、給食を中心として、食事の重要性や正しい食習慣、食事のマナー、食文化、食べ物への感謝など食育を学んでいます。給食試食会を通して、学校での食育について知るよい機会となったのではないかでしょうか。府小っ子のみんなには、心のこもったぬくもりのある給食をいただくことを通して、そのよさやおいしさが分かり、自分の健康を考えて食べる子供に育ってほしいですね。

給食試食会の準備や運営にかかわることについてはPTA本部の皆さんに、配膳については17名のボランティアの皆さんに協力をしていただきました。ありがとうございました。



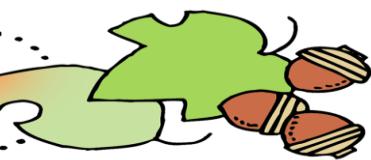
・給食の調理員さんのお仕事を初めて見せていただきました。すごいなあと本当に思いました。子供から給食がすごくおいしいと聞いていましたが、なるほど、納得でした。今日のメニューもおいしくいただきました。魚が苦手な子も食べやすいなあと思います。

- ・ししゃもがとてもおいしく骨までサクサクと食べることができました。給食ができるまでにいろんな人たちの支えがあることを改めて感じました。そして、片付け、洗い物の大変なこと、愛情を感じてジーンとしました。
- ・使われている食材や調理の工程がとても丁寧で時間をかけて作られている様子がとてもよく分かり、感動と感謝の気持ちでいっぱいになりました。特に朝食の量や食材に課題があるなど改めて気付かせていただきました。
- ・家に帰って来て子供が「今日の給食の〇〇がすごくおいしかったから、今度家で作って！！」と言ってくるので、レシピとか教えてくださるとうれしいです。いつも子供たちにおいしい給食を考えて作ってくださってありがとうございます。





府小っ子応援団によるボランティア活動



10月も府小っ子たちのため、府中小学校のため、多くのボランティアの皆さんに多くの支援をいただき、学びを支えていただいています。いつもありがとうございます。

5年調理実習ボランティア



おいしいご飯と味噌汁を作ることができました。

2年町探検見守りボランティア



町内を4つのコースに分かれて町探検をしました。

1年校外学習見守りボランティア



多家神社でたくさん秋みつけをしました。

3年社会見学見守りボランティア



「店ではたらく人の仕事」を見て、話を聞いて学習することができました。

2年図工ボランティア



初めてカッターを使った図工の学習でしたが、けがをした人が〇（ゼロ）でした！！

クラブ活動支援ボランティア



充実したクラブ活動をすることができます。

図書ボランティア

いのちの本棚の掲示物を秋冬仕様に変えたり、58冊の購入本のブックカバー掛けをしたりしていただきました。

